

平成28年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更平成29年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
2 都市計画法の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業	5
2 前田利長墓所整備事業	6
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業	7
5 高岡市伏木気象資料館復原修理事業	8
6 市内町家等再生事業	9
7 金屋町鋳物工場跡地整備事業	10
9 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	11
10 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	12
16 県道岡・笹川線道路整備事業	13
17 高岡御車山保存修理事業	14
21 菅笠保全対策事業	15
25 次世代型ものづくり人材育成事業	16
27 伝統工芸産業希少技術継承事業	17
28 次世代クリエイター工房開設支援事業	18
29 文化財等修理補助事業	19
30 菅栽培調査事業	20
31 ものづくり・デザイン科推進事業	21
32 前田家関連史跡調査事業	22
33 町並み保存・都市景観形成補助事業	23
34 金屋町楽市開催事業	24
35 獅子舞大競演会開催事業	25
36 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	26
37 祭行事・イベント振興事業	27
38 「高岡再発見」プログラム事業	28
39 新たな芸術・文化創造推進事業	29
40 日本遺産魅力発信推進事業	30
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・研究の充実	31
2 文化財の適切な保存管理	32
3 郷土教育と人材育成の継続	33
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	34
⑥その他(様式1-6)		
1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進	35
2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり	36
口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	37

評価軸① 組織体制		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議2回開催、幹事会3回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
第9回高岡市歴史まちづくり協議会 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 第9回協議会(平成29年3月14日開催) <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進行管理・評価について ・計画の変更について ・H29年度の計画推進について ◎ 第11回推進会議(平成28年11月28日開催) <ul style="list-style-type: none"> ・計画事業の進捗状況について ・計画の変更について ◎ 第12回推進会議(平成29年2月17日開催) <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進行管理・評価について ・計画の変更について ○ 第16回幹事会(平成28年9月28日開催) ○ 第17回幹事会(平成28年11月14日開催) ○ 第18回幹事会(平成29年2月6日開催) 	
第12回歴史まちづくり推進会議 			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
1 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度の景観法に基づく届出件数は13件である。 景観計画を変更(色彩基準及び敷地の緑化率の明確化、届出対象行為の拡大)し、平成29年4月からの施行を予定している。変更にあたっては、事業者・住民説明会や景観まちづくり講演会を行い、市民や事業者への啓発を行ったほか、高岡市町並み保存・都市景観審議会及び都市計画審議会から意見聴取を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">景観形成重点地区(池の端通り)の修景事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>修景前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修景後</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">当該重点地区の景観づくりの基準に基づき、新築した住宅において、黒瓦や植栽、及び窓部分の格子の設置を、市の補助金を活用して実施した。</p> </div>			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
2 都市計画法の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

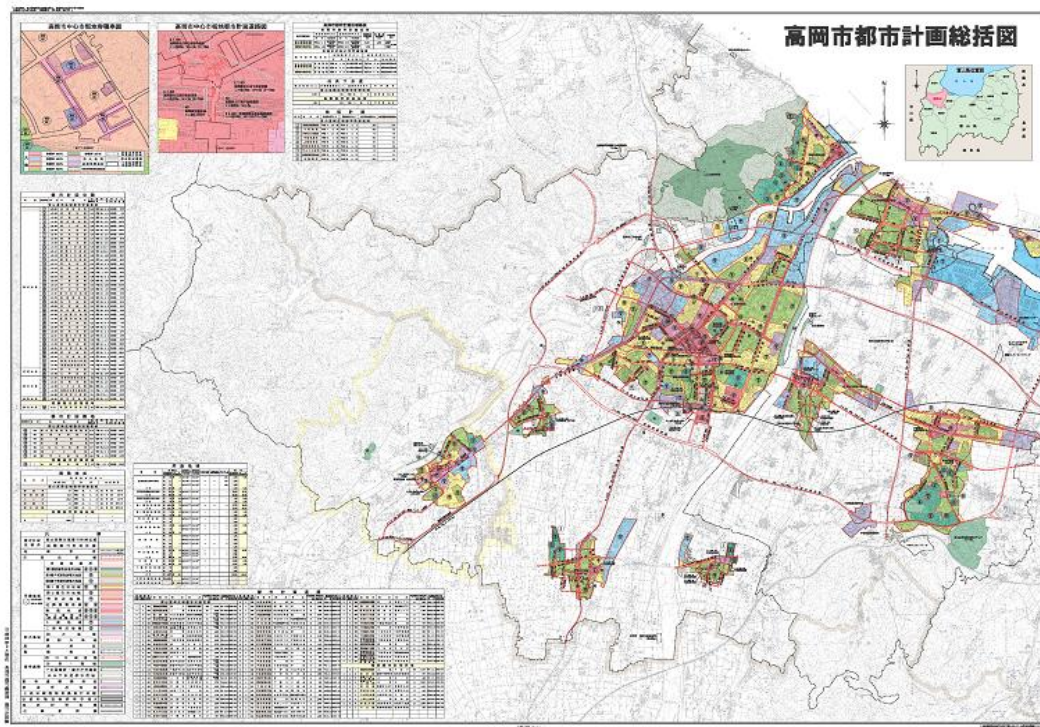
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。
 また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定し、5路線16区間について、都市計画の廃止・変更手続きを完了した。
 平成28年度からは都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの見直しに着手している。その中で、歴史・文化を活かした都市づくりを目指し、平成30年度中の策定へ向け作業を進めている。


進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	



状況を示す写真や資料等

都市計画総括図



H28.3.31時点データ

評価軸②-3 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。			
是正実績(H28) 許可・既存不適格 ⇒ 是正 4件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
既存不適格の是正事例 (高さ14mから10mへ、表示面積を56㎡から26㎡へ改善)			
			
是正前		是正後	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成32年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	瑞龍寺禅堂等の柿葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度において以下の工事を実施した。 大庫裏:屋根工事 ※南回廊は工事完了。現在北回廊を工事中。今後、総門・山門・大茶堂等を工事予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【大庫裏】北面 屋根			
			
【大庫裏】北面 唐破風			
			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
2 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度 内堀の範囲確認調査、樹木整理を行った。 内堀の範囲確認調査によって、堀の幅が多少広がることを確認し、今後の整備における基礎データを蓄積した。 内区の樹木整理によって、御廟と墓標の顕在化を図ることが出来た。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
樹木整理前 御廟と墓標がみえない		樹木整理後 御廟と墓標の顕在化を図った。	
			
内堀範囲確認調査 重機掘削風景		内堀範囲確認調査 土層断面	
			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成17年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 勝興寺大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は以下の工事を実施した。
 書院及び奥書院: 木工事、耐震補強工事、屋根工事、左官工事ほか
 宝蔵: 組立工事、屋根工事、左官工事ほか
 御内仏及び御霊屋: 木工事、屋根工事、左官ほか
 式台門: 木工事、組立工事ほか

※唐門は工事完了。現在は本坊部分、宝蔵・式台門を工事中。今後は諸堂、渡り廊下・玄関等を工事予定

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【御霊屋】屋根工事



【式台門】木工事(柱根継ぎ)



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

5 高岡市伏木気象資料館復原修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 歴史と文化が薫るまちづくり事業(富山県)

計画に記載している内容 旧伏木測候所の遺構である伏木気象資料館(登録有形文化財)を歴史的風致形成建造物に指定し、現在失われている望楼の復原を中心とした保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は以下の事業を行った。
 ・望楼(旧測風塔)の復原
 平成28年度事業をもって望楼の復原作業が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



復原前



望楼の様子



復原後

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
		項目	現在の状況
6 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の修理に対し補助金を交付した。(実績1件) ※今回、地元団体により破損部分の修理が行われることから、歴史的風致の維持向上に資するとして補助金を交付した。文化財保存・継承に対する地元の意識向上が期待されるもの。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【平成28年度事例】 歴史的風致形成建造物「五福町神明社本殿」



修理前



修理中



修理後

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

7 金屋町鋳物工場跡地整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 金屋本町にある富田家鋳物工場跡地において、鋳物工場を歴史的風致形成建造物に指定し、その復元修理を行い、資料保存及び体験交流施設として活用するとともに、金屋の町並み保存の一環として敷地を住民用駐車場として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度…体験交流施設について、事業計画地を移しての整備を進めるため金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業に統合し、本事業は中止する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

上記整備を進めるため計画を変更する。

状況を示す写真や資料等



現況



調査状況

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

9 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成13年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度事業内容
 伝統的建造物の修理 主屋、車庫、土蔵 各1件
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【旧谷道家主屋】修理前



【旧谷道家主屋】修理後

【修理事例】



【旧谷道家土蔵】修理前



【旧谷道家土蔵】修理後

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

10 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度事業内容
 伝統的建造物の修理 主屋、作業場、土蔵、山門 各1件
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【神初家作業場】修理前



【神初家作業場】修理後

【修理事例】



【神妙寺山門】修理前



【神妙寺山門】修理後

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

16 県道岡・笹川線道路整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
市単独

計画に記載している内容 県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、道路管理者(富山県)から、事業内容や県と市との施工区分・管理区分について同意を得た。
今後は、整備内容や整備規模等を踏まえ、関係機関等と連携を図りながら、測量設計を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



福岡町の町並み



旧北陸道(西側から)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
17 高岡御車山保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成17年度～
------	---------

支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金
-------	------------------

計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 守山町山車の車輪(2輪)、小馬出町丸座の修繕を実施した。
 ※車輪…構造部材の割れや傷みが深刻であり、奉曳の安全上修理が必要であったため実施した。
 ※丸座…部材のやせにより、漆の剥離と金具の損耗が進行しており、修理が必要であったため実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

【守山町】車輪監修



【小馬出町】丸座途中経過



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

21 菅笠保全対策事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業、美しい農村再生支援事業補助金

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全の総合対策事業を実施するもの。
菅笠づくりの後継者育成指導や研修、スゲ栽培の調査・勉強会、新商品の開発などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は以下の事業を行った。
 ・菅笠製作技術後継者育成事業(技術習得のための育成事業)
 ・スゲ草栽培推進事業(スゲ栽培の現況把握やスゲ栽培勉強会、スゲ栽培ボランティア育成、学校田での活動支援)
 ・菅笠展示・実演(市内外のイベント会場や施設において出展)
 ・新製品ブランド化等事業(ブランド化小委員会による乙女笠改良製作、デザイン工芸センター等と菅笠製作技術を活用したスゲ製品の商品開発、スゲ染色研究)
 ・菅笠展覧会・コンテスト開催
 ・菅笠保全市民活動団体との連携事業(休耕田でのスゲ栽培活動、スゲ細工品の商品開発、販路拡大、体験指導)
 ・福岡庁舎1階ロビーへの菅笠展示コーナー設置

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題)・高齢化による技術保持者の減少 ・研修修了生の職人への自立 (対応策)・後継者育成事業の研修生や農村支援団体や県内大学生の活用 ・自立に向けた支援策の検討

状況を示す写真や資料等

ブランド化小委員会(スゲ製品の商品開発、菅の染色)



後継者育成



(笠縫い↑)
(笠骨→)



あらかわ伝統技術(菅笠展示・実演・販売・体験)



→ 菅笠展覧会・コンテスト



→ スゲ草栽培(学校田)



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

25 次世代型ものづくり人材育成事業

実施済
実施中
未着手

事業期間 昭和43年度～(基礎・研究コース)、平成12年度～(造形コース※)、平成26年度～(3D造形コース)
 ※27年度、専門コースから名称変更

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。
 総合的に技術を身に付けるため基礎デザインや伝統工芸(彫金、鋳造、塗り、青貝、蒔絵)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。
 伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、デザインの初歩知識と基礎技法の修得、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施。

<内容>

- (1) 金工・漆工基礎研究コース(2年間) デザイン概論、工芸技術概論、道具制作、基礎技法、加飾技術を中心に実習。週1回、年間約28回
- (2) 金工・漆工専門コース(1年間) 加飾技術に加えて、総合的な造形感覚を養う。月2回、年間19回
- (3) 金工修理技術コース 御車山をはじめとする祭屋台の修理技術の修得を目指す。月1回、年間10回
- (4) 3D造形コース(1年間) 3Dプリンターを活用した立体造形とデータ作成法を学ぶ。月2回、年間10回

<実績>

<平成28年度(第25期前期)>

金工基礎コース 7名	28回/年	漆工基礎コース 5名	28回/年
金工研究コース 8名	28回/年	漆工研究コース 5名	27回/年
金工造形コース 10名	17回/年	漆工造形コース 5名	17回/年
3D造形コース 5名	10回/年		

<成果>

- (1) 修了生一延べ 1003名(昭和43年～平成27年度【28年3月末】) ※加えて28年度は、造形 金工10名、漆工5名、3D 5名が修了予定
- (2) 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者として大いに活躍している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

金工コース

彫金の実習(基礎コース)



鋳造の実習(造形コース)



インターンシップ

関連する事業所の見



漆工コース

塗りの実習



螺鈿・蒔絵の実習(研究コース)



彫刻の実習



3D造形コース

3Dプリント技術の実習



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

27 伝統工芸産業希少技術継承事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度から、旧「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。
より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住をを促すことで、工芸やものづくり産業の活性化を図る。

- ・<育成者> 浦島 俊秀 <継承者> 小畑 公未子 【部門】 銅器 仕上げ (平成27年度より継続)
- ・<育成者> 藤田 正作 <継承者> 野村 毅史 【部門】 漆器 彫刻

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【部門】 銅器 仕上げ



【部門】 漆器



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
28 次世代クリエイター工房開設支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場等を活用して開設する工房(作業場)に対し改修費等を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者への支援として、工芸家、工業デザイナーなどによる市内での新たな工房(作業場)の開設に伴う賃借料(月額上限5万円、最長2年)、取得費(上限120万円)、改修・改装費(上限100万円)、設備機器費(上限40万円)のそれぞれ2分の1以内について補助金を交付する。
 ・平成28年度支援実績 2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



28年度計画認定した貸工房

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
29 文化財等修理補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、高岡の工芸技術の保存継承を図るもの。また、文化財修理技術の向上や修理に関する資料データの作製等を図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(県外へのPR、HP更新等)、人材育成事業(視察、研修会への参加)を実施。また、産・学・官が連携し漆木の育成・管理事業等を実施 ・高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これら記録、資料作成等を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
   			
山車の修理、平成の御車山制作の様子			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
30 菅栽培調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	菅田の栽培に関する肥料対策、病害虫対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で			
菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会を実施し、栽培技術の向上を図る。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
芽欠き		刈取り	
			
天日干し		機械刈り	
			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

31 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	--	---

事業期間	平成18年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。市内小・中・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、年間35時間の授業を実施する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。
 平成28年度は、青貝塗りのブローチや彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作に取り組んだ。
【定量的評価】
 「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡のよさを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合
 約91.5%(3,673人/4,016人)

進捗状況 ※計画年次との対応

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

小学校の取り組み例

学校名	小学校	
学年	5年	6年
タイトル	曲がる錫の小物	青貝塗りの置時計
写真(活動)		
写真(作品)		

児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例



中学校の取り組み例

学校名	中学校	
学年	1年	
タイトル	鑄造による錫の小物	
写真		

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
32 前田家関連史跡調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成20年度から着手し平成24年度で終了した高岡城跡詳細調査の成果を公開し、高岡城跡に対する関心と理解を高めるため高岡城跡シンポジウムを開催する。守山城跡の詳細調査を開始し、遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度:守山城跡詳細調査(遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査)

遺構確認調査によって主要部である本丸、二の丸、三の丸の縄張図を作成し、遺構の広がりをおさえることができた。主要部の地中レーダ探査によって、造成の痕跡等は確認できているが、今後詳細な検討が必要である。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

守山城跡詳細調査 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

遺構確認調査



地中レーダー探査



遺構確認調査の成果である縄張図

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

33 町並み保存・都市景観形成補助事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。
修景補助7件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例



当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、板塀の新設について助成を行った。

景観協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例



当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の屋根及び外壁、開口部の格子について助成を行った。

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
34 金屋町楽市開催事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な町並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせ合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町人文化」の魅力を広く発信した。今年度は工芸都市高岡クラフトコンペティション、高岡クラフト市場街と連携を図り、同時期（両イベントは9月22日～26日）に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しむ機会を提供した。

- ・開催日 平成28年9月24日～25日
- ・来場者数 26,500人
- ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売
街並みのライトアップ
彫金、鑄物、ガラス等のワークショップ
きもの通りファッションショー 他

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



3イベント合同のポスター(楽市の開催期間は24日,25日のみ)



石畳通りにおける工芸品の展示・販売



銅器の鑄込み作業の一般公開

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
35 獅子舞大競演会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心商店街を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらう機会をつくることで継承につながった。高岡市だけでなく県内の特色の有る獅子を招聘し開催した。平成28年度は悪天候だったこともあり、前年の第40回の記念競演会に比べ参加者数が減少した。(開催日)平成28年5月3日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



獅子舞大競演会(末広町)



獅子舞大競演会(@パーク)



獅子舞大競演会(ウイングウイング高岡)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

36 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------	---

事業期間	毎年
------	----

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、町並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬) ②山町筋の天神様祭(1月下旬) ③山町筋のひなまつり(3月中旬)
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。平成28年度は以下のイベントを行った。

①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(平成28年8月20日、21日開催)
土蔵造りの建物での講演会とプロジェクションマッピング、クラシックカーギャラリー、軒下マルシェなど

②山町筋の天神様祭り(平成29年1月21日、22日開催)
山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

③山町筋のひなまつり(平成29年3月11日、12日開催)
山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

37 祭行事・イベント振興事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。
 高岡御車山祭(平成28年5月1日開催)
 伏木曳山祭(平成28年5月15日開催)
 二上射水神社築山行事(平成28年4月23日開催)
 八丁道おもしろ市(平成28年5月15日、10月16日開催)
 御印祭(平成28年6月19日、20日開催)
 高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、それらの継承や担い手の育成につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

高岡御車山祭



伏木曳山祭(けんか山)



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市



評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
38 「高岡再発見」プログラム事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡市内の小学校、特別支援学校に在籍している3～6年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ポイントの数によって3つのコースに分けて認定を行う。平成27年4月の「日本遺産」認定に伴い、今年度「日本遺産コース」を設けた。 シルバーコース(15ポイント以上): 959人 ゴールドコース(25ポイント以上): 606人 プラチナコース(35ポイント以上): 316人 日本遺産コース(日本遺産ポイント10ポイント以上): 665人であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



高岡再発見プログラムVスタンプラリー
平成28年4月29日〇時START!

見て、聞いて、ふれて、高岡のよさを再発見しよう!

12月19日



見て、聞いて、ふれて、高岡のよさを再発見しよう!

高岡市は平成23年6月に「歴史都市」として国から認められました。また、平成27年4月、高岡の歴史と文化の遺産が「日本遺産」に認定されました。みなさん、スタンプラリーにチャレンジして高岡のよさを再発見しよう!

応募資格
高岡市内の小学校、特別支援学校に通っている小学3～6年生

チャレンジ方法
学校の先生や友だち、家族といっしょに、歴史の薫る町並みや建物を調べたり、高岡のまつりに見学、参加したりする。
(学校の授業や行事でもよいし、休みの日に家族や友だちとチャレンジしてもよい)
スタンプラリーポイントには、ポスターやPOP、観光帳があるのをご参考にしよう!

応募方法
スタンプラリーチャレンジカードを担任の先生に提出する。

応募しめ切り
平成28年12月19日(月)

早く早く
・自動車や自転車に乗るにつけよう。
・舟中証などの乗車やつりかぎにつけよう。
・見学した後にスタンプを押そう。
・走ったり、ふざけたりしない。
・お店の人や町の人にめいわくをかけない。

認定

シルバー
スタンプ、担任印あわせて15ポイント以上でプレゼント!
歴史パッチ

ゴールド
スタンプ、担任印あわせて25ポイント以上でプレゼント!
歴史帳 + 高岡歴史マップ

プラチナ
スタンプ、担任印あわせて35ポイント以上でプレゼント!
歴史帳 + 高岡歴史マップ + 高岡歴史マップガイド に認定!!

NEW! 日本遺産
日本遺産ポイント(13ポイント)のうち10ポイント以上でプレゼント!
ポイントのくりにしができるのは、今回で最後とします。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
39 新たな芸術・文化創造推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業 地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化創造都市高岡推進事業 ・「Art&Craft City高岡」を表現したイベントの実施 ・文化創造都市に関する情報発信(テレビ番組制作・ウェブサイトの開設) ・文化創造都市高岡市民会議の開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">Art&Craft City 高岡を表現したイベント</p>		 <p style="text-align: center;">文化創造都市高岡市民会議</p>	
 <p style="text-align: center;">ウェブサイト「文化創造都市高岡」</p>		 <p style="text-align: center;">テレビ番組「文化創造都市高岡」</p>	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
40 日本遺産魅力発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	文化芸術振興費補助金(日本遺産魅力発信推進事業)		
計画に記載している内容	本市の日本遺産のストーリー(加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一)を通して歴史的的魅力に溢れた文化財群を総合的に整備・活用し、国内外に情報発信や普及啓発を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度・認定された日本遺産に関する個々の文化資産を一体的に捉え、全体をPRする事業を行った。 ・高岡の日本遺産を知ろう展事業 ・高岡の日本遺産ストーリー周知事業 ・日本遺産海外展開事業等			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
高岡城跡			
			
金屋町の町並み			
			
山町筋の町並み			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
1 文化財の調査・研究の充実		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、文化財の調査・研究として以下の事業を実施した。 ・前田家関連史跡調査事業 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
守山城跡範囲確認調査の様子 			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
2 文化財の適切な保存管理	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の指定を推進し、豊かな歴史文化の息づく地域づくりを目指していく。各指定文化財について段階的に保存管理計画の策定を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の適切な保存・管理を目的に平成28年度は主に以下の事業を実施した。
 ・勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業
 式大門・木工事、組立工事を実施した。(P7参照)
 ・瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業
 大庫裏・屋根工事を実施した。(P5参照)
 ・高岡御車山保存修理事業
 守山町山車の車輪(2輪)、小馬出町丸座の修繕を実施した。(P14)
 ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業
 山町筋・金屋町の両伝建地区において、伝統的建造物の修理及び修景を実施した。(P11・12参照)
 このほか、高岡御車山祭の御車山行事が今までの取り組みの成果によりユネスコの無形文化遺産に登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【勝興寺】屋根工事



(再)

【高岡御車山】車輪監修



(再)



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
3 郷土教育と人材育成の継続		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。
 学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

- ・高岡地域伝統技術継承事業
 次世代型ものづくり人材育成事業、後継者確保育成事業、若者技術者育成事業(空き家・空工場を活用した工房づくり)
- ・菅笠保全対策事業(P15参照)
 菅笠製作技術後継者の育成等
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P16参照)
 高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・伝統工芸産業希少技術継承事業(P17参照)
 希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すために、補助金を交付
- ・文化財等修理補助事業(P19参照)
- ・菅栽培調査事業(P20参照)
 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会等
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P21参照)
 青貝塗りのお皿、彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作授業を実施
- ・祭行事・イベント振興事業(P27参照)
 二上射水神社築山神事、御印祭ほか
- ・金屋町楽市開催事業、獅子舞大競演会開催事業、土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P24～26参照)
 イベント助成事業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



菅笠製作技術後継者の育成



金屋町楽市

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル		評価対象年度 平成28年度
年月日	掲載紙等	
高岡鑄物テーマの映画「デンサン」	H28.4.5	北日本新聞
22年ぶり獅子舞復活	H28.4.6	北日本新聞
立山連峰を世界遺産に	H28.4.6	北日本新聞
旧菅笠の館 美容院に	H28.4.26	北日本新聞
高岡銅器魅力知って	H28.4.12	北日本新聞
重伝建へ町家認定、表彰	H28.5.9	富山新聞
施設名は「山町ヴァレー」	H28.10.21	富山新聞
伝統継承に想い新た	H28.11.1	富山新聞
塔屋復元に当時の部材	H28.11.2	北陸中日新聞
無形文化遺産に登録	H28.12.2	北日本新聞
「山・鉾・屋台」無形遺産	H28.12.2	北陸中日新聞
富山の伝統 世界の宝に	H28.12.2	読売新聞
曳山の魅力 世界に	H28.12.5	富山新聞
鑄物師町工場の整備加速	H28.12.9	北日本新聞
日本遺産の高岡すごろくに	H29.2.1	北陸中日新聞
すごろくで巡る日本遺産	H29.2.1	北日本新聞
釈迦三尊像再現 伝統産業の成長分野に	H29.2.17	北日本新聞
伝統工芸指定へ振興会を設立	H29.3.2	富山新聞
福岡の菅笠国の工芸品に	H29.3.13	北日本新聞
勝興寺周辺景観を整備	H29.3.15	北日本新聞
伏木のシンボル復活	H29.3.19	北日本新聞
町家から高岡に活気を	H29.3.26	北日本新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。 また、「高岡御車山祭の御車山行事」がユネスコの無形文化遺産に登録されたほか、高岡鑄物の鑄物師主人公とした映画の撮影も行われるなど高岡の文化が広く発信された。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>北日本新聞 平成28年12月2日付</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>富山新聞 平成28年10月21日付</p> </div> </div>		

評価軸⑥
その他

評価対象年度 平成28年度

項目

1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進

計画に記載している内容 平成27年3月の北陸新幹線開業の機会を活かし、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新高岡駅からJR高岡駅を經由し金屋町までの範囲、及び伏木地区を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

たかおかストリート構想に基づき、エリア内の歩行者案内用矢羽根サインの整備を進めているところである。また、伏木地区についても、平成28年2月に策定した伏木地区ストリート構想に基づき、歩行者案内用拠点サインの整備を進めているところである。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

拠点サイン整備事例



矢羽根サイン整備事例



評価軸⑥
その他

評価対象年度 平成28年度

項目

2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり

計画に記載している内容 文化財の保存・活用において、今後市民と行政の連携体制の整備や活動支援の充実を図っていく必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史まちづくり計画に基づき、事業を進めてきたことにより、徐々に市民の歴史に対する認識も深まってきているほか、歴史まちづくりに関連する活動に広がりが出てきている。

- ・平成26年6月には、山町筋と金屋町の2つの伝建地区を結ぶ沿線における道路の修景整備を契機とし、観光客が散策を楽しめる地域づくりを目的とした川原本町周辺街づくり協議会が設立された。
- ・平成26年9月には、重要文化財勝興寺に通じる参道として風情漂う落ち着いたあるまじい景観づくりを進めることを目的とした、勝興寺寺内町通り景観協定が締結された。
- ・平成27年4月には、袋町と平米町の2町で旧町名が復活し、獅子舞が10年ぶりに復活するなど地域コミュニティの結束が強まった。
- ・平成28年4月には、西海老坂地区で、江戸時代から口伝で受け継がれてきた伝統を絶やさないよう、獅子舞保存会が立ち上げられ、22年ぶりに獅子舞が復活した。
- ・平成28年5月には、吉久まちづくり協議会で、将来的な重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、景観まちづくり表彰や様々なイベントを実施する「継承部会」のほか、教養講座や街歩きを行う「町育部会」などが立ち上げられ、活動が行われている。
- ・平成28年9月には、国宝瑞龍寺において「ものづくり」などの高岡の歴史や文化をベースに観光振興へ向けた人づくりを目的とした熱中寺子屋が開校し、様々な分野の人たちが集まり、刺激しあう場所ができ、以降、継続的に取り組みが続けられている。
- ・平成28年には、地元の映画制作会社や実行委員会により、高岡鑄物の鑄物師を主人公にした映画「デンサン」の撮影が行われ、平成29年の公開が予定されている。
- ・歴史的資産を活用した町家再生事業において新たに伝統的建造物をリノベーションする。管理運営は若手事業主らでつくる町衆高岡が担っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



旧谷道家



山町ヴァレー起工式の様子



熱中寺子屋の授業風景



